

未来に広がる水素エネルギー

エネルギー？

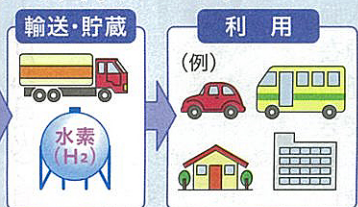
得られるエネルギーを有効に活用するエネルギーの利用が注目されています。二酸化炭素を排出しない「貯めて運べる」ことができる「貯めて運べる」特長があり、将来、エネルギーが期待されています。

北海道における水素の利便性水素社会実現戦略ビジョン」に加え、エネルギーの地産地消、水素関連産業の創出を進めています。

が始まっています

の中で利用していくためには、利用までの一連の流れである構築することが必要であり、道内にもあります。また、水素の需要を増やしています。

の図(イメージ)



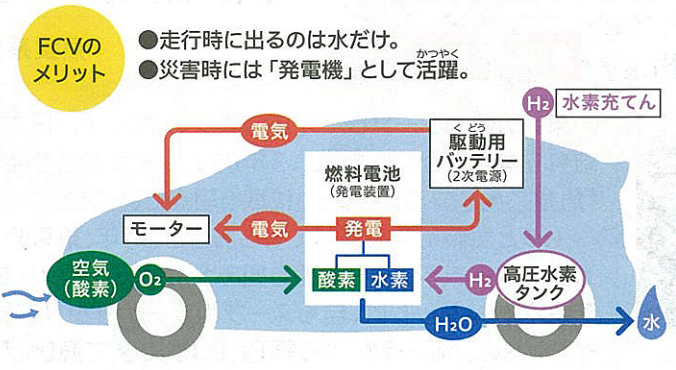
器として、家庭用燃料電池(FCV)の普及が始まっています。利用について道民の皆さんに広く燃料電池普及キャラバン」を展開し、携して、FCVの展示や試乗体験、行っています。車として初展示しています。



公道車用の燃料電池自動車

水素ってスゴイ! 燃料電池自動車(FCV)のしくみ

FCVは、水素と酸素を化学反応させてできた電気をエネルギーとして、モーターを回して走ります。



▶道庁低炭素社会推進室 ☎(011)204-5885



室蘭市経済産業振興課 主幹 大久保 嘉人さん



低炭素都市の実現を目指して市が進めている「室蘭グリーンエネルギータウン構想」は、エネルギーの地産地消を進め、地域経済を活性化しようというものです。工場などものづくりの過程で発生する水素の利用には早くから着目し、道内初となる燃料電池自動車と移動式水素ステーションを一体的に導入するなど、普及に向けた実用性の高い取り組みを進めています。

市内を走る燃料電池自動車は、公道車を含め4台。2020年までに15台の導入を目指しています。現在は導入促進のため企業への貸出を行っているほか、水素供給に使う金属製ホースの開発・製造に地元企業が取り組むなど、ものづくりのまちにふさわしい動きも出てきました。

今後も水素の実用化に向け、室蘭と札幌を結ぶ道央圏での水素サプライチェーンづくりを、道や関係機関と連携して進めています。



移動式水素ステーション

エネルギーを大切に使う暮らしへ

暮らしの中でできることはたくさんあります。エネルギーを無駄なく使うことを心がけましょう。



●3つの「S」で、省エネにご協力ください! ~省エネ3Sキャンペーン~

Save エネルギーの使用を抑える

使っていない照明はこまめに消すでござる。

1か月あたり
1.6kWh節電 ▶ 49円 節約
1,099g CO₂削減

※54Wの白熱電球の点灯を1日1時間短縮で計算

電気便座のフタは閉めるでござる。

1か月あたり
2.9kWh節電 ▶ 86円 節約
1,946g CO₂削減

※貯湯式の場合

Select 省エネ型のモノを選ぶ

日本には湯たんぽという優れた省エネグッズがあるのでござるよ。

1か月あたり
0.3kWh節電 ▶ 97円 節約
3,518g CO₂削減

※石油ファンヒーターの運転を1日1時間短縮で計算

Shift ライフスタイルや価値観を変える

長時間のアイドリングはやめるでござる。

1か月あたり
3,351g CO₂削減
178円節約



※節約効果は電気などの平均的な単価を考慮し算出しており、条件によって効果も変わることから参考としてご覧ください。

余熱調理は身近な省エネ。エコクッキングがおすすめです。



北海道地球温暖化防止活動推進員 加藤 真緒さん

省エネや節電を実践するときに、重要なのは「エネルギーを大切に使う」という考え方。必ずしも数値で効果を確認できる方法でなくても、楽しみながら工夫できることはたくさんあります。

そこでおすすめしたいのがエコクッキング。例えば煮込み料理を作るときに、フェイスタオル2枚を十字に重ね、火から下ろした鍋全体をくるんで保温することで熱の放出を抑え、余熱調理ができます。

カレーやシチュー、豚汁などでは、水から調理して沸騰後3分で火から下ろせば、あとは鍋ごとタオルでくるんで約30分置いただけ。余熱で根菜にも火が通り、省エネと節約につながります。ぜひご家庭で実践してみてください。

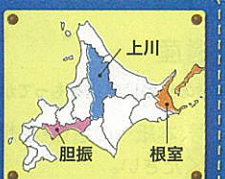
地域の学習会や企業の研修、学校への出前授業などに推進員を派遣しています。詳しくはこちらへ。

北海道地球温暖化防止活動推進員

検索

▶道庁低炭素社会推進室 ☎(011)204-5189

注目! 地域から



振興局の話題をお届けします。

となっています。各線区では、もっと鉄道を利用してもらうための取り組みを検討しており、沿線の市町村や振興局の職員が駅に立ち、どのような人がどのような目的で鉄道を利用しているのか調査しています。

また、石北本線部会では、JR北海道がご当地入場券を販売する沿線9駅すべて巡ると、抽選でペア宿泊券や地元特産品などが当たるスタンプラリーを平成30年3月末まで実施中。この機会にそれぞれのまちの魅力を楽しんでみませんか。

胆振総合振興局 「洞爺湖有珠山ジオパーク」で食の探検を

地球を学び楽しむ大地の公園「洞爺湖有珠山ジオパーク」には、火山活動で形成された雄大で美しい自然や貴重な地質、縄文文化の遺跡群など多くの見どころがあります。

また、多彩な食材の産地であり、大地の恵みを受けて育った「ジオフード」も大きな魅力です。

そのシンボルメニューとして、さまざまな食材を一度に味わえる「ジオパークピザ」や、噴火湾のホタテをかたどった「ホットサンド」が誕生しました。

「大地の物語」を感じるメニュー、ぜひ胆振を訪れて味わってください。

▶地域政策課 ☎(0143)24-9567

根室振興局 振興局職員による観光体験レポート発信中

根室振興局では、根室の魅力を感じ、実際に地域を訪れてほしいと、平成20年からホームページで、職員によるイベント・グルメなどの体験レポートを発信しています。

例えば「北海道最東端のシーサイドラインをドライブ」「JR花咲線の車窓を撮影」「紅葉が色づく季節の路線バスの旅」「旅客機で上空から根室地域を撮影」など、職員が体験したリアルな情報を観光客の目線で紹介しています。ぜひ一度、ご覧になってください。

根室振興局 体験レポート

検索

▶商工労働観光課 ☎(0153)23-6830



特注の調理器具で焼き上げるホットサンド



ホームページ

報告! 道議会

定例会の概要などをお伝えします。

平成29年第2回定例会 (6/20~7/7)

■正副議長の選挙

議長に十勝地域選出の大谷 亨議員(自民党・道民会議)、副議長に江別市選出の勝部 賢志議員(民進党・道民連合)が選出されました。



議長 大谷 亨



副議長 勝部 賢志

■定例会の概要

知事から提出された予算案2件、条例案8件とその他の案件7件が原案可決、人事案件2件が同意議決、報告案件1件が承認議決され、議員及び委員会から提出された決議案1件、意見案11件が原案可決されました。

本会議では、道内7空港の一括民間委託、JR北海道の路線見直し、災害対策、観光振興、農業、水産業・漁村振興推進計画、子どもの貧困対策など道政が直面する諸課題について、19人の議員が一般質問を行いました。

予算特別委員会からは、付託議案の審査経過を踏まえ、北方領土問題、EUとのEPA交渉、JRの路線見直し、道内7空港の一括民間委託、道立病院事業、働き方改革について意見が付けられました。

■主な議決の状況

- 予算案 2件
「平成29年度北海道一般会計補正予算(第1号)」など
- 条例案 8件
「北海道税条例等の一部を改正する条例案」など
- 決議案 1件
「特別委員会の定数及び調査事項に関する決議」
- 意見案 11件
「EUとの経済連携協定に関する意見書」など

■ロシア連邦・サハリン州議会との交流



議会議場での記念撮影

平成12年の「北海道議会とサハリン州議会の協力に関する協定書」に基づく相互交流の一環として、7月にサハリン州議会エフレモフ議長をはじめとする代表団が来道し、道議会議長を表敬訪問されました。

~ホームページをご覧ください~

道議会ホームページでは、議会中継・録画、議会の日程、傍聴・見学のご案内などをご覧いただけます。

なお、質問などの詳細は、市町村役場等に配付している冊子「北海道議会時報」でもご覧いただけます。

北海道議会

検索

▶議会事務局政策調査課 ☎(011)204-5691